

“届けよう、服のチカラ” 古着回収にご協力いただきありがとうございました ～ 3 万着をこえる服が集まりました ～

ユニクロ SDGs 企画に参加し、本校 1 年生全員が 16 の班に分かれ、母校である小学校を中心として古着回収にご協力をお願いいたしました。約 40 の小学校や図書館・役所のご厚意をいただき回収箱を設置させていただきました。コロナの非常事態の影響もあったため、予定通り・想定通りに進まないところもありました。そんな中、先月中に古着の回収期限を迎え、お願いした各所からたくさんの古着の提供をいただきました。まことにありがとうございました。

この企画は、いらなくなった子供服を難民に届けよう、というプロジェクトです。世界には数千万人の難民がおり、その半数は子供とのことです。難民ですからあらゆる物資が不足しています。その子供たちのために服を届けようという趣旨です。

■ 回収依頼

7 月、各班が趣向を凝らして回収箱を制作しました。それをご協力いただける小学校などに持参しました。コロナの影響で夏休み明けの予定が 10 月に大幅にずれ込んでしまいました。



■ 回収

10 月下旬から 11 月初旬にかけて、ご提供いただいた古着の回収を行いました。想定をはるかに超える分量で生徒だけではとても運びきれず、保護者の車や職員が車を出して運び出すことができました。その際、小学校などには余計なお手間を取らせてしまい大変恐縮しております。

■ 箱詰め

集めた古着をパートナーシップ企業の運送会社の箱に梱包する作業を 11 月末 12 月初旬に行いました。1 年生全員が班毎に、枚数を数えながら詰め込んでいきました。一つの箱には 100 着から 160 着、中には 200 着を詰め込んだ班もありました。当初は 11 月末までにユニクロ最寄りの倉庫に送る予定でしたが都合により来年 1 月に変更になり、現在教室の中に保管しております。運送会社から 200 箱調達したのですがそれでも全てを収容できず、さらに梱包用の箱を追加したところです。大まかに見て、**3 万着**ぐらいの古着を梱包したことになり、まだ 1 万着ぐらいが未梱包という状況です。皆様のご協力に大変感謝しております。



<体育館での梱包作業>



<梱包した箱を集約>



<発送を待つ古着箱>